

琉球大学学術リポジトリ

リュウキュウマツの子葉数

メタデータ	言語: 出版者: 沖縄農業研究会 公開日: 2009-01-29 キーワード (Ja): リュウキュウマツ, 子葉数, クロマツ, アカマツ キーワード (En): 作成者: 諸見里, 秀宰 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002015081

リュウキュウマツの子葉数

諸見里 秀幸

(琉球大学林学科)

Shusai Moromizato; Cotyledone-number of Luchu pime.

1. 緒言

マツ類は裸子植物中でも子葉数の多い所謂多子葉植物である。子葉数は種によって異なるだけでなく、子葉の形態学的特徴は種の識別に役立つことが知られている。また、子葉数は種子の良否および発芽後の生長とも相関々係が認められている。即ち、豊満な大粒種子程子葉数は多く、発芽後の生長も良好である。

子葉数については、クロマツ (*P. thunbergii* Parl.) アカマツ (*P. densiflora* S. et Z.) およびその他松類についてはよく調べられているが、リュウキュウマツ (*P. luchuensis* Mayr.) については未だ調査されていないので、子葉数について調査をおこなった。その概要を報告する。なお、発表にあたり宮大教授農博外山三郎氏に有益な助言を頂いた。厚く御礼を申し上げる。

2. 総括

第1回目の調査は、1956年5月北部営林所より分譲して頂いた種子について発芽試験のついでに子葉数を測定した。第2回目は、1961年秋に与那演習林で採集した種子について、1962年5月植木鉢に播種し、発芽次第子葉数を測定しながら除去した。その結果を表示すれば第1表の通りである。

Table 1. の通りリュウキュウマツの子葉数の範囲は4~9枚、モードは6枚、平均値は5.8枚である。また、モードは48~58%の百分率を示している。

アカマツおよびクロマツの子葉数に関する既往の調査結果によると、アカマツでは、中島は4~10、モードは6、飯塚・森川は5~9、森川・鯨島はアカマツ、クロマツとも4~10枚、通常4~9枚で6枚を有するものが最も多いと述べている。クロマツでは、中島は5~10枚、モードは7~8枚、飯塚・森川は4~10枚、佐藤は4~10枚、平均値は6.73±0.74と報じている。したがって、リュウキュウマツの子葉数はクロマツよりも少く、アカマツと略々類似している。しいてアカマツとの相異点を見出すとすれば、中島の結果からアカマツの子葉数を最多頻度順にあげれば、6,7,5枚の順になっているが、リュウキュウマツでは、6,5,7枚の順になっていること位だろう。即ち、アカマツに比して、少い傾向にあるといえる。リュウキュウマツの子葉数がクロマツより少く、アカマツに類似していることは分類学的にも興味がある。本調査に用いた種子については、母樹およびその樹令や採種母樹個体数も明らかでないので、その数値がリュウキュウマツを代表するとはいえないが、子葉数についての大約の傾向を知りうるものと思われる。

3. 参考文献

1. 飯塚昌・森川均一 1929 稚苗期の赤松と黒松の解剖学的識別について、九大農学部学芸雑誌、Vol. 3, No.149~59.

Table 1. Variance of Cotyledone-number of Luchu Pine

Cotyledone number		4	5	6	7	8	9	Total	Mean
		Subject							
1956	measured number	13	73	170	34	4	1	295	5.81
	%	4	25	85	12	1	0.3		
1962	measured number	15	105	166	46	13	0	345	5.81
	%	4	30	48	13	4	—		

2. 森川均一・鮫島宗堅1930赤松及び黒松に於ける種子の大小と子葉数との関係(1). 日林誌、Vol.12, No.11, 23~39
3. 1930赤松及び黒松に於ける種子の大小と子葉数との関係(2). 日林誌、Vol. 12, No. 12, 1~21.
4. 中島庸三1919あかまつ及びびくろまつの子葉の数に就いて、植雑、Vol. 33, No. 385.1~19.
5. 佐藤敬二 1933マツに関する基礎造林学的研究第1報。きう果の大小が種子の品質並に苗木の生育に及ぼす影響。大東演報。No.16, 1~28,

Summary

The investigation was carried out in order to provide the fundamental data for genetics of the Luchu pine (*Pinus luchuensis* Mayr). The author investigated on the number of cotyledones of Luchu pine in 1956 and 1962. Cotyledone-numbers ranged from 4 to 9, their mode was 6. The percentage of mode is supposed to be within 48 to 58 percent.